草加を再発見するフリーペーパー

草生人

そうせいじん

自転車で行こう!

草加の自転車屋さん

●元気人紹介●

コーディネーター：鈴木淳子さん

●草加イベントレポート●

「春の子どもフェスタ」

「草加松原太鼓橋ロードレース大会」

●そうかまちだより●

写・ド・ラペ展

「草加お宝かるた」

草加南高校と島田商店

2013 / 初夏

自転車で行こう！

自転車。
体ひとつで活動できるその機動力に、
環境に優しく、健康に役立つそのスタイルに、
多くの人が魅入られ、
ユーザーを増やしている。
渋滞の横をすり抜け、自らの力で風を切る快感。
ご存じの通り、草加市は自転車が多い街だ。
これが関東平野だ、という平地が続く土地。
「坂道」に敏感な自転車にはぴったりの街なのだ。
市内には自転車店が40軒ほどある。
今号の『草生人』では、その中から特徴的な自転車
店を4軒紹介する。
ロードバイク専門店。大規模な量販店。本格的なス
ポーツ車から一般車まで幅広く扱う店。交通安全運
動に打ち込む店。
自転車の魅力を再発見してほしい。
さあ、自転車で行こう。


ロードギャラリーミラノ　店内

ロードギャラリーミラノ　創業37年、沿線唯一のスポーツ車専門店

ブティックのような外観

草加駅東口から徒歩3分。曲面を描く白い外壁の店舗はブティックか美容院のよう。店頭にはシャープな姿形の自転車が並んでいる。

店内に入ると、無駄をそぎ落とした軽量フレーム、細いタイヤ、そしてドロップハンドルを備え、高速走行に特化した、いわゆる「ロードバイク」が、壁やフロアにたくさん展示されている。一般車はない。スポーツ車専門の自転車店、それがロードギャラリーミラノだ。昨年の10月、この場所に開店したばかりだ。

だが、ミラノの歴史は古い。そもそもは37年前、1976年の春、獨協大学の近くで故・木村隆博さんが開業した。始めからスポーツサイクルをメインとする店だった。

「スポーツ専門店は東武線沿線ではここだけだったと聞いています」と現店長の岩澤克政さんが話す。

ミラノはその後、草加市立病院の向かいや谷塚駅近くなど、数度の移転を繰り返してきた。

ボスから屋号を継いで新装開店

岩澤さんは1986年12月生まれ。26歳である。

大学生のとき、自転車で旅がしたいと思ってミラノを訪れ、ロードバイクと出会った。そこで家族のように仲良くしてくれたのが店主の木村隆博さんだったという。木村さんは、ミラノが運営するサイクリングクラブのメンバーから「ボス」と呼ばれて親しまれていた。

「自転車を楽しみたい人を全力で応援してくれる方でした」と岩澤さん。

カフェバール コッロ　caffèbar Corro

草加市氷川町の住宅街に、こじんまりとしたカフェがある。オープンテラスのある、まるでそこだけ南ヨーロッパのような外観。カフェバール・コッロだ。

だが、ただのおしゃれなカフェではない。入口にロードバイクが掲げられ、店内の壁には額装された自転車選手のウェア（サイン入り）が何枚も展示され、天井にもロードバイクが吊るされている。壁のテレビに流れている映像は「ツール・ド・フランス」。

ここは自転車カフェ。自転車好きたちが遠方からも集う場所である。オーナーの西川正治さんと店長の西川美紀さんのご夫婦で経営している。

正治さんは20年以上勤めていた仕事を退職し、さて何をやろうかなと思案していた。そして美紀さんの「喫茶店をやりたい」という長年の夢と、正治さんの自転車好きという趣味が融合して、自転車カフェが生まれた。1年前、2012年6月のことだ。

実は正治さんは、アテネオリンピックにマウンテンバイクで出場した竹谷賢二さんと地元小中学校時代からの友達。そんな縁で竹谷さんに来店していただいて自転車やトレーニング方法を話していただくイベントを開催している。

また、ロードレースのプロ、土井雪広選手や宮澤崇史選手、ツール・ド・フランスに出場している新城幸也選手などが遊びに来てくれて、交流会（飲み会）を開くこともある。おいしい料理とお酒をいただきながらさぞか



オーナーの西川正治さんと
店長の西川美紀さん



やがて岩澤さんはミラノでアルバイトをするようになった。だが大学卒業後、誰もが知る大手機械メーカーに入社し、そのまま3年間自転車から離れることになった。

あるとき、近くに来たのでふらっとお店を訪ね、久しぶりに木村さんと話をした。

「お話してたら、後継者もいないし、ゆくゆくはミラノを継ぐっていう形で正社員でやとってあげようか、という話になりました」

2012年4月、大手機械メーカーを退社し、ミラノに入社した。

その1か月後、ボス、木村さんが急逝した。日帰りツアーの下見のために車で遠出し、その途中で倒れそのまま亡くなったのだった。

岩澤さんは木村さんの奥様と相談し、「お客さんの面倒をみてもらいたい」という意思を受け、ミラノの屋号を継いで自転車店を経営する決意をした。そして2012年10月13日、現在の場所で新しいミラノが開店した。

店の奥に「MILANO ROAD RACING PRO SHOP」と刻まれた木製の看板が掲げられている。創業当初、木村さんが作ったものだ。

「走れる」状態にするにはプロの技術が必要

ロードバイクはどう購入するのか。店内に常時30台ほど展示されているが、その中から欲しいものを購入して持ち帰る、という買い方ではない。

展示車やカタログを見ながら、客は欲しい自転車をイメージする。イメージに合うメーカーやモデルが決まり、購入が確定したら、次に客の身体各部を採寸する。身長、股下、腕の長さ、あと股関節の可動域など。まるで洋服を仕立てるみたいだ。ロードバイクとはきわめてパーソナルな乗り物なのだ。

「座るサドルの高さも3ミリ違ったら全然別の乗り物になります。設定はそれぐらいシビアです」

注文してメーカーから送られて来る段階では、パーツがばらばらの状態。それを組み上げて「走れる」状態になるように調整するためにはプロの技術が必要だ。ネジを締めるだけでも、締める強さ（トルク）の適正値が場所ごとに決まっているうえに、数字では表せない微妙な調整も要求される。「肌で感じないとわからない」という。

初めてロードバイクを買う人はどれがお勧めか、聞いてみた。

「私はまず、どういった遊び方をしたいですかとか、自転車に何を求めていらっしゃいますか、と尋ねます」

そして気に入った自転車が見つかったら、その自転車をカスタマイズして、確実に乗りやすいものに仕上げてくれる。初心者だからと恐れることはない。どれを選んでも大丈夫だ。

最先端の技術を取り入れたパーツを選んでカスタマイズすれば、それこそツール・ド・フランスの選手が乗っているのと同等の自転車を手に入れることもできる。しかも公道を走ることもできる。

「車でこんなものを買おうと思うと、フェラーリとかそういうランク。F1カーに近いと思う。それがある程度お金を出せば手に入るんです！」

1年中仲間たちと一緒に自転車ライフを

ロードバイクを買った。さあたくさん走りたい、もっと楽しみ方を広げたい。そんな方に、岩澤店長は創業当時からミラノが運営しているサイクリングクラブ「チーム・ミラノ」を紹介している。

チーム・ミラノは、毎週日曜日に「アサラン」という名前で続けている朝の走行会や、遠方へのツーリング、レース参加など、1年中仲間たちと一緒に自転車ライフを楽しんでいる。



店の前で
店長の岩澤克政さん

ROAD GALLERY MILANO（ロードギャラリーミラノ）
草加市高砂 2-20-5 浅見園ビル 1 階
電話：048-951-2353
営業時間：平日・土曜 11 時～ 20 時、日曜・祝祭日 12 時～ 19 時
定休日：火曜日と水曜日
※イベントのため日曜祭日もお休みする場合があります。

し熱い自転車トークが繰り広げられることだろう。

ただ、自転車マニアだけの店ではない。

「お客様の半分ぐらいはご近所の方です。うち禁煙なんで、タバコなしで食事できるお店ということで、近所の方が食事にいらっしゃいます」と正治さん。

ご近所の客の中には、店で感化されてロードバイクを買ってしまい、自転車乗りたちの仲間入りをした方もいるそうだ。

正治さんは毎日のように自転車に乗る。江戸川や荒川、時には筑波や秩父のサイクリングロードも、自転車で日帰りで走ってくるという。

また、正治さんはお客さんに呼び掛けていっしょにサイクリングに行く。先日も、子供や初心者でも気軽に走れる全長54キロメートルほどのサイクリングを企画した。名付けて「ゆるポタ（ゆったりポタリング）」。そのコースは、草加駅東口から3キロメートルぐらいは一般道を走るが、あとは裏道か遊歩道か自転車専用道路ばかり走る設定になっている。

「子供は一般道で車の横を走るのは怖いんですよ。なるべくそういうところを通らないコースにしたかった」

安全でこそ楽しいのが自転車だ。

今年の10月にさいたま市で「ツール・ド・フランス」の名を冠したレースが開催されることもあって、自転車が盛り上がっている。自転車文化の拠点としてコッロはますます賑わうことだろう。



caffèbar corro（カフェバール・コッロ）
草加市氷川町 2152-22
電話：048-928-8707
営業時間：月～土曜日 18:00 ～ 24:00
日曜日、祝日は基本的にお休み
イベントで貸切になることがあるので、事前にご連絡ください。
http://barcorro.blogspot.jp/

サイクルベースあさひ草加谷塚店

草加市内最大の自転車店



サイクルベースあさひ　草加谷塚店
草加市谷塚仲町462
電話：048-929-9800
営業時間：10:00～20:00
定休日：2013年　8月20日、11月12日、12月30日、12月31日
2014年　1月1日、1月21日、2月20日





店長の筒井啓太さん



子供乗せ自転車が大きく進化した

谷塚仲町、草加バイパス沿いに巨大な自転車店がある。2階建ての広大なスペースと高い天井、大きなガラス窓から光が差す明るい店内には、多彩な品ぞろえの膨大な自転車が展示されている。サイクルベースあさひ草加谷塚店だ。

「サイクルベースあさひ」とは、大阪に本社を持ち、全国で300店舗以上を展開する日本最大の自転車販売チェーン店だ。草加谷塚店は一昨年の夏に開業したばかり。

店長の筒井啓太さんは27歳。大学卒業後、2007年にあさひに入社し、つくば店、八潮店を経て、草加谷塚店の担当になった。学生時代はサイクリング部に所属し、現在は足立区の自宅から自転車通勤する自転車愛好家だ。

店内を案内していただいた。まず1階はファミリーサイクル。中央の大きな島を占めるのは子供乗せ自転車だ。

「いまや重要なカテゴリーです。付近に保育園があって小さいお子さんが多いので、子供を乗せる人が乗るのはこういうタイプがほとんどですね」と筒井さんが語る。

子供を乗せる大きなシートを前ハンドルの中央に固定した子供乗せ自転車の元祖、丸石サイクルの「ふらっか～ず」が登場したのは20年ほど前。

平成21年7月に自転車のルールが改正されて、一定の基準を満たせば3人乗りが可能となった。新しい子供乗せ自転車はその基準に沿った改良が加えられている。ポイントを筒井さんに説明していただいた。

●前輪が小さくなって子供用シートが低くなり子供を抱えて乗せやすくなった。また重心が低く安定感が増した。

●子供シートのヘッドレストが大きくなった。万が一転倒した場合、子供の頭部が守れるように。

●フレームの強度が上がった。3人乗ると車体に起こるねじれを抑えるため。

●子供を乗せた状態で乗り降りしやすいように、サドル前部分のフレームが地面に近い低い設計になった。

●スタンドも大型でL字型の幅広になり安定度が増した。

●子供を乗せるときにハンドルが動かないようにロックできるようになった。手元でロック操作するタイプや、スタンドを立てると自動でロックされるタイプなど。

メーカーはいろいろあるが、一番人気は「保育園のママさん友達同士の口コミで」ブリジストンのアンジェリーノだそうだ。値段は高いが安全性や機能で選ばれている。

これに電動アシストがついたら最強だと当然思う。

「お子さんが大きくなると重くなり大変になるので、電動アシスト車に替える方は増えてきています」と筒井さん。

電動アシスト自転車は坂道でありがたみがわかると聞くが、坂がない草加市内でも効果がてきめんで、いったん乗るとやめられなくなるとのこと。

「後ろから押してもらっているような感じです」

通学には錆びにくく丈夫な自転車を

1階にはほかにもカラフルなシティサイクルがたくさん展示されていた。

通学用自転車も豊富だが、売れ筋は？

「タイヤは分厚くパンクしにくいものです。車輪もリムやスポークに錆びにくくて丈夫なステンレスがいいです。あとは暗くなると自動で点灯するオートライトです。3年間乗るとぼろぼろになるので、とにかく頑丈じゃないといけないです」

2階は子供用とスポーツタイプのフロアだ。

スポーツ車は、あさひではマウンテンバイクのようなフラットなハンドルとロードバイクのような細いタイヤを兼ね備えた、クロスバイクという車種が多く出ている。コントロールしやすいうえに軽快な走行が可能なので、自転車通勤に最適だ。

筒井さんは1台のクロスバイクを指さす。

「このタイプは、泥除け、カゴ、スタンド、変速ギアがあり、ギアのカバーもあり、スーツのまま乗るのに最適です」

値段も手ごろで購買欲がそそられる。

自転車量販店の従来のイメージを裏切る品ぞろえ

折り畳み自転車がたくさんあった。車輪が小さいのでのろのろ走るのだろうか。

「いえギアを前を大きく後ろを小さくすることで、スピードをカバーできます。見た目とは全然違ったりしますね」

小さく畳んで玄関の中にしまっておく、とか、車に積んで行楽地でサイクリング、とか夢が膨らむ。海外製のものなど、デザインがユニークでおしゃれだ。

実用一点張りでない面白い自転車があちこちに展示されている。自転車量販店の従来のイメージを裏切る品ぞろえだ。

種類も量も圧倒的。「取り寄せでなく、その場で選べること」が量販店の強みだと筒井さんは胸を張った。

交通安全のキャンペーンに連日のように参加

4月9日の午後、草加駅東口で春の交通安全運動の街頭キャンペーンが行われた。市長をはじめ警察や交通安全関係団体の方々が通行人にチラシを配って、自転車事故防止を呼び掛けた。

その中、自転車で通りかかる人を呼び止めては、車輪のスポークにリフレクター（反射板）をひたすら取り付けている男性がいた。中山晴夫さん、新栄町の自転車店、中山輪業の店主だ。

リフレクターが夜道で車のライトに反射し、運転手から自転車の存在を視認しやすくなる。

「絶対つけてほしいんだ」と、中山さんはかたっぱしから自転車を止めては車輪の前にかがみこむ。

中山さんは、埼玉県自転車軽自動車商協同組合の草加市部の支部長、そして埼玉県自転車防犯協会の副会長を務めており、組合全体の協力のもと、交通安全運動に積極的に取り組んでいる。街頭キャンペーンや小学校の交通安全教室などに連日のように出かけていく。

中山輪業の創業は昭和20年代前半だ。もう60年くらい、自転車とバイクの販売修理をやっている店だ。中山晴夫さんはお父さんを継いで2代目店長。57歳。

１９７０年代のスクーターブームや自転車、とくにミニサイクルブームで大繁盛した時代を経験している。近年は主に自転車の整備や修理を中心に営業するようになっている。中山さんにとって自転車の整備は重要な仕事だ。

交通安全運動に打ち込む街の自転車店

中山輪業









店長の中山晴夫さん

店内の壁に貼られている「自転車安全整備店」のプレート。「TS」のロゴが入っている。これは財団法人日本交通管理技術協会が推進している「TSマーク」（※1）が扱えると認定された店である証だ。

「整備店」や「整備士」となるには厳しい条件や試験が課せられている。中山さんは誇りと使命感を持って、自転車を整備している。

「モッタイナイ」からリサイクル自転車へ

中山輪業は草加市が進めている事業「放置自転車のリサイクル販売」の指定店だ。

そして、中山さんは、まもなく来るお客さんのためにリサイクル自転車を1台整備しているところだった。

中山さんは、作業台の自転車からハンドルを外した。そして別の中古自転車から外したハンドルを組み込んだ。「年配の人だから」と横1本タイプのハンドルから手前に曲がっている一般車のハンドルに交換したのだ。

さらに「あの人けっこう背が高いんだよね」と、ハンドル位置を高めに調整した。

1本スタンドから普通のスタンドに交換し、ブレーキを調整し、新しい鍵をつけ、各部のネジをトルクレンチを使って所定の締め付けになるように締め直し、チェーンに油を差した。整備完了。TSシール貼付。

そうこうするうちに噂のお客さんが来店。乗っていただくと、ハンドルの高さは目論見通りぴったりだった。

草加市の自転車リサイクル事業は、もともと中山さんが市に提案したのだという。

「アフリカの女の人が『モッタイナイ』って言ったからさ、じゃあ俺たちは何をしたらいいんだよって思って」

ケニア出身の環境保護活動家で、ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんが、日本の美徳である「モッタイナイ」という概念を世界に広める運動をしたことに感銘を受けて、中山さんは自転車リサイクルを思い立ったのだ。市に提案して5年後に実現したという。

高校生が加害者になったらかわいそう

店内に新聞記事のコピーが貼ってある。高校生が乗った自転車が歩行者に衝突し歩行者が死亡した事故だ。高校生は多額の賠償責任を負うことになると書かれている。厳しい内容が胸に突き刺さる。

中山さんは、できることなら高校に行って自転車にリフレクターをつけに行きたい、と言う。

「野球部なんか暗くなるまで練習してるでしょ。夜の自転車は危ない。あんな真面目な子たちが加害者になっちゃかわいそう」

自転車は道路交通法上では軽車両と分類され、本来車道を通行しなければならない。だが、交通の状況に照らして安全を確保するためやむを得ないときは、歩道を通行することが許される。

草加市内の車道は交通量が多く道幅に余裕のないところばかり。一般自転車を運転する人にとっては「やむを得ない」と感じる場所ばかりなので、どうしても歩道を走ることになってしまう。

「自転車は歩道を借りて走ってるんだよ、という心構えがあると、歩行者に優しくなれるんだよね」

中山さんの思いがみんなに伝われば事故が減るだろう。

※1 「TSマーク」は、自転車安全整備店に勤務する自転車安全整備士が、点検・整備した安全な「普通自転車」に貼るシールのこと。傷害保険と賠償責任保険が付帯されている。TSとは、Traffic（交通）Safety（安全）の頭文字で、「交通安全」という意味を表す。（公益財団法人　日本交通管理技術協会：http://www.tmt.or.jp/index.html）

セオサイクル草加店・八潮店

本格的なスポーツ車から一般車まで





八潮店の山澤健さん





セオサイクル草加店
草加市高砂１丁目 11-41
電話：048-924-9329

セオサイクル八潮店
八潮市南後谷５-1
電話：048-931-6331

１２６店も展開する自転車専門チェーン店

草加駅から線路沿いの道を南（谷塚方向）へ歩くと5、6分で見えてくる、ロードサイドのおなじみの自転車店がセオサイクル。

古くから地元になじんでいるため、ローカルなこじんまりした店かと思いきや、実は57年前、１９５６年に船橋で創業され、今や関東を中心に１２６店も展開する自転車専門チェーン店なのだ。

草加店は約20年前に開業。草加駅から東へまっすぐ、綾瀬川を渡ってすぐにある八潮店の開業は12年前だ。草加店と八潮店は従業員が行き来するなど常に協力しあって営業している。

八潮店の山澤健さんによれば、セオサイクルは店ごとに主力商品などのカラーが違っているとのこと。

「草加店は一般車がメイン。一方八潮店は一般車が6割、スポーツ車が4割と少しスポーツの割合が高くなります」

オリジナルブランド「Sコレクション」が人気

一般車で今人気の自転車をお聞きした。

「セオサイクルのオリジナルブランド『Sコレクション』が人気ですね」と山澤さん。

見せていただいたモデルは、黒いがっちりしたシティサイクル。サドルの鋲留めや荷台の太いフレームにレトロっぽさが漂う。

「6段切り替えのギアがついて、ライトが自動で点灯。スカートがひっかかりにくくまたぎやすいように1本フレームのボディ。女性でも男性でも乗りやすいようなデザインにしてあります」

ライトがカゴの下、中央についている。2連のＬＥＤなのでかなり明るいとのこと。横についているものに比べて、倒れた時に破損しにくいのもメリットだ。

スポーツ車の中でも、セオサイクル八潮店がプッシュしているのがマウンテンバイクだ。２０１１年の震災以降増えた自転車通勤で利用されることが多いクロスバイクにも力を入れている。

マウンテンバイクを基本にロードバイクの車輪をつけて、強度と加速性も兼ね備えるのがクロスバイクだが、たとえばと紹介してくれたのはブリジストンのオルディナＳ３。普通スポーツ車にはつかないスタンドとライトとワイヤー鍵が標準でついてくるので、かなり人気がある。

「通常のクロスバイクは７００Ｃというスポーツ規格の車輪径のタイヤがついているんですけど、この商品は一般規格の27インチなので、一般のタイヤがつけられる。修理費用が安く済みます」

限界状況で戦うマウンテンバイクのメンテナンスも

整備・修理コーナーの作業台になにやらごつい自転車が乗っていた。マウンテンバイクのレースのうち、山の急斜面コースを高速で下る「ダウンヒル」という種目専用の自転車だという。前輪を支えるフロントフォークに組み込まれたサスペンションの大きさ、ゴツさに驚く。オートバイ並みだ。タイヤの太さも重厚で、ただならぬオーラを放っていた。

「大会シーズンが始まるのでオーバーフォールのためにお預かりしています。タイヤを替えたり、車輪の軸を分解して汚れを取り除いてグリスアップしたりします」

セオサイクル八潮店はマウンテンバイクの大会の支援をしてきていて、ダウンヒルの全日本選手権で優勝し世界大会に出場したお客様もいたという。

またメカニックとして選手をサポートするために大会に参加することもある。天候や路面コンディションをチェックしながら、タイヤを選択し空気圧を確認し、適切なオイルをチェーンに差すなど、記録を1秒でも縮めようと限界点で戦う選手のためにメカニックもギリギリの戦いをするのだ。

山澤さんはお客さんに呼びかけたいことがあるという。

「自転車には車検がないので買ったら乗りっぱなしという方の割合が多いです。ご購入時に、最低でも1年に1回ぐらいは定期点検のお時間を作っていただきたいと説明しています」

点検では、ねじのゆるみがないか、ブレーキのワイヤに錆が出ていないかをチェックする。

「錆が出ると、動きがしぶくなったり、最終的には握ったときにぶちっと切れたりすることもある」

チェーンのたるみやタイヤのチェックも大事だ。

「タイヤは溝がなくなると交換。とくに後輪は荷重がかかるので減りやすい。前輪を1回交換する間に後輪は2回交換。点検するときに後輪の交換をお勧めすることは多いです」

走行中にブレーキが効かなくなったり、タイヤが破裂したりしたら、大変だ。誰かを怪我させてしまうこともありうる。

限界状況で戦うマウンテンバイクをメンテできる技術者に、通勤、通学の自転車を保守してもらえるなら、たいへんな安心感ではないだろうか。

日本教育備品 リカンベント




社長の指方圭亮さん

リカンベント！こんな自由な乗り物がある！

リカンベントという自転車を見たことはあるだろうか。背もたれつきのシートに座り、足を前方に突き出してペダルを漕ぐ大変ユニークな自転車だ。

このリカンベントを製造販売している会社が草加市弁天にある。日本教育輪店（ＮｉＫＩＲＩＮ）という会社だ。つまり「輪（自転車）」の店。だが実はこの会社の正体は日本教育備品株式会社である。学校、学習塾、企業向けの椅子や机を中心とした備品を製造販売している。

教育備品とリカンベント。その不可解な関連性について、社長の指方圭亮さんにお話を伺った。

指方さんは、10年ほど前リカンベントに興味を持ち、手に入れようとしたところなかなかのお値段だったため、真似して作ってみたのだった。

「ということで初めて乗ったリカンベントは自分で作ったものです」

で、乗ってみたら最初から普通に乗れて楽しい。それで何十万もするリカンベントを購入するようになった。だが会社の経理担当者からその費用の必要性について指摘が入った。ちなみに経理担当者は奥様である。

指方さんはどうしたか。

「これは投資ですよ、これを売るんですよ、椅子のラインナップが増えるだけです、と主張しました」

椅子屋が椅子型の自転車を売るのだから、首尾一貫しているというわけである。

こうして現在は台湾の会社と提携して製造販売するようになり、日本教育備品社にとって重要な事業のひとつと言えるまでになっているという。

リカンベントのよさは何か。

ひとつには『実に合理的な乗り物である』。

重心が低いため空気抵抗が少なくスピードが出しやすい。そして前方に踏み出した足の力の反作用を背中に押し付けることで受けるため、力が入れやすくて疲労しにくい。

そして『乗れる喜びを感じる乗り物である』。

リカンベントはバランスがとりにくくて、乗りこなすのがちょっとだけ難しい。それだけに、乗れたときには小さいころ自転車に初めて乗れた時のうれしさを思い出す。指方さんはリカンベントの試乗会を開いているが、最初なかなか乗れなかった人ほど乗れたときの感動が大きいという。

リカンベントはその形の多様さも特徴だ。二輪だけでなく三輪のものもある。椅子の高さや角度もいろいろ、ハンドルの位置や形もさまざまで、それぞれ乗り心地や操作感が全く異なるという。

「こんな自由な乗り物がある。乗りこなすのも楽しい」

実はリカンベントの歴史は普通の自転車と同じぐらい古い。普通の自転車は世界中に広まっているのに、リカンベントは陰に追いやられている。

指方さんはこんな乗り物観を語ってくれた。

「自動車でも飛行機でも椅子に座って運転するじゃありませんか。逆に、またがって乗る乗り物って自転車とバイクぐらいしかないですよね。どっちが珍しいですか？」

リカンベントは胸を張るべし。

もっともリカンベントは仰向けに胸を張って乗るものだが。

日本教育備品株式会社
草加市弁天 2-21-8
電話：048-932-4721
リカンベントの営業は 17 時から 22 時まで
商品や試乗会についての問い合わせは下記のホームページからお願いします。
日本教育輪店／ NiKIRIN ホームページ：
http://www.nikirin.com/index.htm

草加市役所 防災マウンテンバイク隊



災害時に出動、頼れる赤いチーム

草加市には、「防災マウンテンバイク隊」という、災害時に情報集めのために出動するチームが存在する。自転車特集ならばはずせない、と取材を申し込み、隊長の加藤大吾さんと、危機管理担当主事の浜中洋行さんにお話を伺った。

チームの発足は２００４年９月１日。阪神淡路大震災をきっかけに設けられた。市の職員で構成されており、地震が起きたときに真っ先に市内をマウンテンバイクで回り、ライフラインや交通の状態、危険箇所の所在や被害状況など、情報収集して災害対策本部に知らせる。隊員は現在30名。

今までの出動といえば、「もちろん3・11の時」。その日は偶然にもマウンテンバイク隊の訓練日。高砂コミュニティーセンターで1年間の反省ミーティングをしている最中に地震が発生した。

「これは大きいと、即座にみんな駆け足で市役所に帰り『じゃあ散れ』と、それぞれ担当の持ち場に向かいました」

担当の持ち場とは、市内を東武線東西と、幹線道路で８つに分けたブロック。

「草加市内は震度5強でしたが、その割には被害は大きくないと、人命の危機に繋がるような災害はなかったという報告が上げられましたので、それはやっぱり大きかったと思います」

災害時には、市民からも情報が上がってくるが、その場合どうしても確認作業が必要となる。

「われわれが送ったものについては、正しいかどうかを判断せずに本部に上げられるのが重要ですね」

３・11時、実際に見なくてはわからないと思ったことがあった。それは渋滞情報。下りではなく、上り、東京方面への渋滞が発生していた。

「帰れなくて困っている人を迎えに行こうという住民の車で大渋滞していました」

マウンテンバイク隊は、ふだんは各部局でそれぞれの仕事をされている。勤務時間外に震度5強以上の地震が発生した場合、市の職員は全員市役所に集まり、決められた役割に従って行動することになっているが、マウンテンバイク隊はそのまま情報収集を行うこともあるという。

赤いマウンテンバイクの列を見せていただいた。原則として隊員はこれを使って通勤することが義務づけられている。調整は個人にまかされているため、サドルが交換された車体も多い。

マウンテンバイク隊としての訓練は月1回、年に11回。「我々としては少ないと感じているんですけれどね」。午後の4時間を使い、市内の巡回訓練や、自分で修理できるようメンテナンス訓練などを行っている。

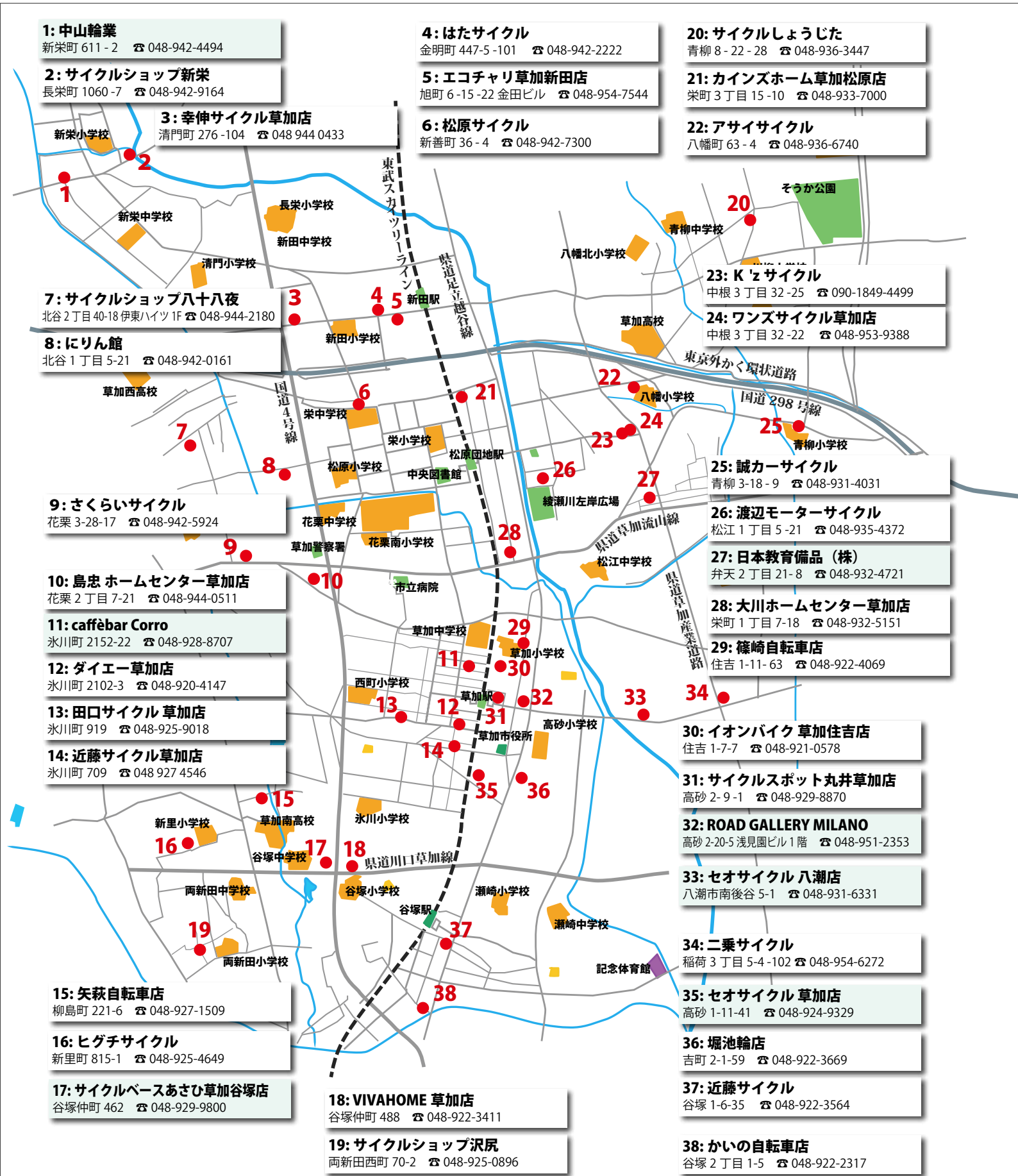
なぜ草加に「防災マウンテンバイク隊」があるんだろうか。

「草加の特性もあると思うんですよ。草加市自体が関東平野の中で高低差がほとんど無い」

今年作ったという白いユニフォームの胸には、オリジナルのマークが輝いている。


市役所の前にて、加藤大吾隊長。

草加市自転車店 MAP



1: 中山輪業
新栄町 611 - 2　☎ 048-942-4494

2: サイクルショップ新栄
長栄町 1060 -7　☎ 048-942-9164

3: 幸伸サイクル草加店
清門町 276 -104　☎ 048 944 0433

4: はたサイクル
金明町 447-5 -101　☎ 048-942-2222

5: エコチャリ草加新田店
旭町 6 -15 -22 金田ビル　☎ 048-954-7544

6: 松原サイクル
新善町 36 - 4　☎ 048-942-7300

7: サイクルショップ八十八夜
北谷 2 丁目 40-18 伊東ハイツ 1F ☎ 048-944-2180

8: にりん館
北谷 1 丁目 5-21　☎ 048-942-0161

9: さくらいサイクル
花栗 3-28-17　☎ 048-942-5924

10: 島忠 ホームセンター草加店
花栗 2 丁目 7-21　☎ 048-944-0511

11: caffèbar Corro
氷川町 2152-22　☎ 048-928-8707

12: ダイエー草加店
氷川町 2102-3　☎ 048-920-4147

13: 田口サイクル 草加店
氷川町 919　☎ 048-925-9018

14: 近藤サイクル草加店
氷川町 709　☎ 048 927 4546

15: 矢萩自転車店
柳島町 221-6　☎ 048-927-1509

16: ヒグチサイクル
新里町 815-1　☎ 048-925-4649

17: サイクルベースあさひ草加谷塚店
谷塚仲町 462　☎ 048-929-9800

18: VIVAHOME 草加店
谷塚仲町 488　☎ 048-922-3411

19: サイクルショップ沢尻
両新田西町 70-2　☎ 048-925-0896

20: サイクルしょうじた
青柳 8 - 22 - 28　☎ 048-936-3447

21: カインズホーム草加松原店
栄町 3 丁目 15 -10　☎ 048-933-7000

22: アサイサイクル
八幡町 63 - 4　☎ 048-936-6740

23: K 'z サイクル
中根 3 丁目 32 -25　☎ 090-1849-4499

24: ワンズサイクル草加店
中根 3 丁目 32 -22　☎ 048-953-9388

25: 誠カーサイクル
青柳 3-18 - 9　☎ 048-931-4031

26: 渡辺モーターサイクル
松江 1 丁目 5 -21　☎ 048-935-4372

27: 日本教育備品（株）
弁天 2 丁目 21- 8　☎ 048-932-4721

28: 大川ホームセンター草加店
栄町 1 丁目 7-18　☎ 048-932-5151

29: 篠崎自転車店
住吉 1-11- 63　☎ 048-922-4069

30: イオンバイク 草加住吉店
住吉 1-7-7　☎ 048-921-0578

31: サイクルスポット丸井草加店
高砂 2- 9 -1　☎ 048-929-8870

32: ROAD GALLERY MILANO
高砂 2-20-5 浅見園ビル 1 階　☎ 048-951-2353

33: セオサイクル 八潮店
八潮市南後谷 5-1　☎ 048-931-6331

34: 二乗サイクル
稲荷 3 丁目 5-4 -102 ☎ 048-954-6272

35: セオサイクル 草加店
高砂 1-11-41　☎ 048-924-9329

36: 堀池輪店
吉町 2-1-59　☎ 048-922-3669

37: 近藤サイクル
谷塚 1-6-35　☎ 048-922-3564

38: かいの自転車店
谷塚 2 丁目 1-5　☎ 048-922-2317

取材させていただいたお店

草加市全体の地図のため、上記地図上で示しているのはおおよその場所となります。
取材店以外は、公開されている電話番号・住所を表記しています。

サイクリングロードを走ろう！

自転車保有率が日本一で自転車に力を入れている埼玉県は、「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」（※1）を策定した。そして「自転車みどころスポットを巡るルート100」（※2）として、埼玉県内のおすすめサイクリングルートを100本選定し、ホームページに地図を掲載している。

草加せんべい松並木のルート

草加市内ではルート番号22「草加せんべい松並木のルート」が紹介されている。草加駅を出発点として、名所に立ち寄りながら松並木の遊歩道を走って新田の草加せんべいの庭にたどり着く全長5キロのルートだ。

石畳の路面もあるのでスピードは落として、のんびりと景色を楽しみながらのポタリングに向いている。

川沿いを走る日本一長いサイクリングロード

ルート番号1は、全長170キロに及ぶ「川沿いを走る日本一長いサイクリングロード」である。群馬県の渋川市から埼玉県の県境に沿って下り、東京ディズニーリゾートに至るコースだ。このコースは利根川自転車道と江戸川自転車道をつなげて作られている。

江戸川自転車道は草加からひたすら東へ、8キロ半も走れば到達する。舗装・整備された道は快適だ。

緑のヘルシーロード

草加から西に行けば「緑のヘルシーロード」がある。利根大堰（行田市）から川口グリーンセンター（川口市）にいたる、全長56・5キロ。このコースを含むルートが、ルート番号3「埼玉農業の歴史を学ぶルート」である。





※1「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想について」
http://www.pref.saitama.lg.jp/site/gurutto/
※2「自転車みどころスポットを巡るルート100　ルートマップ」
http://www.pref.saitama.lg.jp/site/gurutto/gurutto-route100karute.html

快適な住まい
真心の応援
木材・新建材・銘木・住宅機器
島田商店
健康住宅、アトピーキラー、体に良い無垢材
壁・床の新築・増築を応援します
草加南高校の東側。本棚、プランター、
まな板など手作り木工品も製作しています
〒340-0024 草加市谷塚上町６８０－４
☎ 048-928-7378 ／ Fax048-928-6352

江戸川自転車道はこんな道が続いている。





三郷駅に近い江戸川土手にある案内板

草加松原太鼓橋ロードレース大会

2013年3月17日



3月17日(日)、第2回草加松原太鼓橋ロードレース大会が行われた。参加者は約3000人。ロードレースとしてはユニークな大会だが、出場者たちに受け入れられ無事成功を収めた。そのユニークさはどこから生まれたのか、草加市で過去に実施されたロードレース大会、マラソン大会と比較しながら見ていきたい。

市民ロードレース大会（10キロ）とふささらマラソン（ハーフマラソン）

草加市では2008年まで「市民ロードレース大会」が行われていた。10キロ、5キロ、3キロの部門があった。2008年3月が第40回なので、そこそこの歴史だ。

筆者は2008年の大会に初めて参加した。あいにくの大雨で、スタート・ゴール会場の草加公園グラウンドはぬかるみだった。途中のコースにも応援の人の姿はかなり少なかった。陸上マニアむけのストイックな大会という印象を持った。

2007年に第1回東京マラソンが開催されてから、日本中にマラソンブームが巻き起こった。各地のマラソン大会は参加希望者が殺到し、近隣でも吉川、三郷、柏などの大会は定評がある。

草加市もついに翌2009年3月、「第1回ふささらマラソン」が開催された。待望の草加のハーフマラソンだ。草加公園を中心に市内の一般道を広く走るコース。オリンピック金メダリストの高橋尚子さんがゲストランナーとして招かれた。参加した人の声を聞くと、高橋さんの笑顔に励まされ思わぬ力が発揮できたという。

翌2010年10月に「第2回ふささらマラソン」が開催された。高橋尚子さんがまた走ってくれた。

参加者の高評価を受け、大成功を収めたふささらマラソン。だが、第3回は行われなかった。

草加松原太鼓橋ロードレース大会のユニークなコース取り

成功したふささらマラソンにも反省すべきところがあった。交通規制を最小限にするために朝早いスタート時間（第1回は8時、第2回は7時半）に設定しなければならなかったうえ、スタート会場の草加公園へのアクセスは不便だったため、遠方からの参加は難しくなっていた。

その問題を解消して、2012年の3月に新しいロードレース大会が生み出された。「第1回草加松原太鼓橋ロードレース大会」である。

『草生人』の2013年3・4月号「草加の元気人7」で、草加市陸上競技協会副会長の森岩男さんが企画の意図を語ってくれている。

「ハーフは交通規制の範囲が広くなるし長時間になるし、どうしても地域の住民に不便を強いる。それで10キロのレースにして、主要道路の交通規制は最小限にするようにコース取りしているんですよ」

スタート・ゴール会場は草加小学校。草加駅から徒歩7、8分ほどの場所である。スタート時間の朝8時にも楽に間に合う。第2回の今年は1時間遅い朝9時スタートになって、遠方からの参加者にますますやさしくなった。

一般道をなるべく避けてコースを設定するために、既成概念を壊すユニークな試みを実行した。草加が世界に誇る松並木の遊歩道をコースに組み込んだ。石畳の路面もある。そして2本の木造の太鼓橋（歩道橋）、矢立橋と百代橋もコースにしてしまった。階段を駆け上がり、駆け降りるのだ。

綾瀬川左岸広場内もコースになったが、誘導用のロープが張り巡らされ、ジグザグにコースが取られている。

種目は、松並木の部（10km）、草加宿の部（1・2km）、親子の部（1・2km）とともに「応援の部」が設けられた。マラソンに欠かせない沿道の応援を競技種目とみなして、参加者を募集したのだ。和太鼓、よさこいチーム、フォーク歌手たちがエントリーした。

応援をどう審査するか。ランナーはシューズに計測チップをつけて走っており、ゴール後に返却する。そこで応援団体別の返却箱を用意した。ランナーは自分で見てきた応援者たちのうち、いちばん自分を励ましてくれた団体に投票するのだ。

以上のようなコースや演出から、草加松原ロードレース大会は陸上競技を追及するイベントではなく、ランナーたちに走りを楽しんでもらおう、草加を楽しんでもらおう、ということこそ第一の目的だということがわかる。



応援の部、優勝はチアリーディング

筆者は去年、和太鼓団体の一員として応援に参加し、応援の部での優勝をいただくことができた。今年はぜひ応援されたいと思い、ランナーとして参加した。

問題の太鼓橋の登り下りは淡々と確実にこなすことを心がけた。あとで聞いたら、後方の集団が太鼓橋に到達したときには大渋滞になったらしい。

狭いコースが多かったが、ほとんど抜きつ抜かれつには影響なかったと思う。

和太鼓団体の応援は強烈な効果があった。とくに疲れた後半に再び応援してもらったときは、元気が一気に回復した。

左岸広場のジグザグコースは、コースの角ごとにいろいろな応援を見ることができて、効果的な演出になっていた。ギターの弾き語りで応援してもらう体験なんて、よそのマラソンでは得られないだろう。

獨協大学チアリーディング部のみなさんが人の上に人が立つ技を見せていて、思わず拍手した。ちなみに今年の優勝はこのチームだった。納得がいく。

ほとんど途切れない沿道の声援もうれしかった。街全体で応援してくれていることを実感しながら、楽しく完走できた。

ユニークなコースと多彩な応援チーム、そして街ぐるみの歓迎をもっと強調していけば、関東の名物レースのひとつに育つのではないか、と期待感が抱ける。

ところで、後日結果を見て驚いたのだが、変則コースにも関わらず優勝者はなんと32分で駆け抜けていた。

春の子どもフェスタ／松原遊歩道フリーマーケット

2013年4月28日綾瀬川左岸広場／松原遊歩道



大人気の「ふわふわ」



赤いバイクにまたがって記念撮影。奥にずらりと並ぶ消防車。

GW（ゴールデンウィーク）の始まり、4月28日はさわやかな晴天。松原遊歩道では「フリーマーケット」、綾瀬川左岸広場では「子どもフェスタ」が開催された。

「子どもフェスタ」は、子どもたち自身で企画・運営するお祭りだ。主催は小学生から高校生で構成するYouth Summit（ユースサミット）の「春の子どもフェスタ実行委員会」。今年のスローガンは「チャレンジ・スピリッツ～新時代からの挑戦状～」草加青年会議所（JC）がバックアップしている。

2000年から始まり、今年で14回目。広い敷地内には、親子で楽しめるゲーム、模擬店、そして中央にはステージがあり、ダンス、阿波踊り、よさこいなど、地元のグループが次々と登場、パフォーマンスを披露していた。出演者も子どもが多く、カメラ片手の保護者がたくさん集まっていた。

出し物で人気のあるのは「ふわふわ」。空気を入れて膨らませる巨大な滑り台で、いつも開催前から大行列だという。この日も眩しい太陽の下、長い列ができていた。

模擬店の反対側には、起震車や、はしご車・ポンプ車など消防署の車が並ぶ。子どもたちは、消防の赤いバイクに得意げにまたがったり、はしご車のはしご部分に乗せてもらったりと、めったにない体験に喜んでいた。

さて、この子どもフェスタと同日開催となっているのが、松原遊歩道で行われる「春のフリーマーケット」。すでに22回目となり、こちらの方が目的、という方も多いのではないだろうか。300を超える出店があり、遊歩道がまっすぐに歩けなくなるほどの一大イベントなのだ。

主催している「草加フリーマーケット市民の会」の新井陽子さんに少しお話がうかがえた。年々応募が多くなり、八潮や越谷からの出店もあるそう。

「大変ですけれど、みなさんが心待ちにしているのでやめられないんです」

並んでいる品物は多種多様。「リサイクル」のものだけではなく、手作り作品、アクセサリーなども多く、買い手の年齢も幅広い。参加募集の告知は3月に発行される「広報そうか」に掲載されるとのこと。

今度は売る方として参加してみたいと思った。



草加小話

この文章は、メルマガに月1で連載している「草加小話」からピックアップしたものです。

本誌の「そうか小ばなし」の増刊号的な位置づけで、テーマは「草加再発見」。「お、草加ってこんなところもあったのか」「こんなことしてるんだ」と思っていただけると嬉しいです。

草加市歌はスイングしてる

夕方、草加の空に響き渡る夕焼けチャイム。「よい子のみなさん　今日の想い出を大切に　交通事故に気をつけて　もう　おうちに帰りましょう」というナレーションとともに、草加に住む人々の想い出に刻み込まれているメロディだ。

このメロディは「想い出はいつも」という曲で、1988年（昭和63年）に草加市歌と制定された。

調べたら、作詞が中村八大と西村達郎、作・編曲が中村八大ということがわかった。

もちろん中村八大といえば「上を向いて歩こう」を作った大作曲家だ。

「上を向いて歩こう」は、切ないメロディのバックでオーケストラが軽快にスイングしていて、そのギャップが名曲たる所以だと思う。

草加市歌も、穏やかで純朴なメロディのようでいて、バックはスイングしている。ジャズしている。ジャズの街、草加にふさわしい名曲だ。よその市民に自慢したい。

ふと思い立って各地の市歌を調べてみた。お隣の川口市もずいぶんと大物を起用していた。作詞はサトウハチロー、作曲は団伊玖磨。横浜市歌はもっとすごくてなんと森鴎外が作詞をしていた。

YouTubeで市歌を聴き比べていて、静岡県掛川市の歌が特に気に入った。ルパン三世の大野雄二が作曲し、コーラスグループ、サーカスが歌っている。

YouTubeに防災スピーカーから流れる音が録られたものがアップロードされていた。美しいメロディと歌声が流れる街角を想像した。素敵な街だと思った。

同じく静岡県の袋井市の歌は素朴で雄大で、いい映画のエンディングテーマ曲みたいだと思ったら、作詞がシンガーソングライター谷山浩子、作曲が映画やテレビなどの音楽をたくさん作っている大島ミチル。

市歌は市民になじんで心を育んでいく。市歌を大事にしたい。

（じつに　彰）



参考URL

★草加市歌「想い出はいつも」
http://www.youtube.com/watch?v=GIEmYRMJOgY
★静岡県掛川市　防災行政無線チャイム12時「掛川市歌」（1番）
https://www.youtube.com/watch?v=gQGwwkdlKWw
★【自治体歌】袋井市歌～ここがふるさと～
https://www.youtube.com/watch?v=8L27uDLBDhQ

そうか■まちだより


写・ド・ラペ展世話人
染野政夫さん

13歳から99歳までの美術展、写・ド・ラペ展

3月7日から13日までの7日間、草加文化会館1階のフリースペースで「写・ド・ラペ展」が開催された。12日に会場を訪ねた。

作品は合計140点。出品者は45人。下は13歳から上はなんと99歳という幅広さだ。

会場の入り口付近に最初に展示されていたのは安部誠さんの作品。獅子舞の様子が細密に描写された「切り絵」を撮影したものだ。切り絵の作者は撮影者、安部さんの実のお兄さんである。お兄さんは東日本大震災の犠牲になったという。

展示は、鉄道の写真、風景の写真、お祭りの写真などさまざま。好みのものを探すのが楽しい。

本当に写真？と目を疑うような鮮やかな色彩の写真もある。

写真だけではない。たとえば「押し絵」。着物を着た女性が舞う姿の絵画？　いや女性の顔や髪、鮮やかな着物などの各部分が盛り上がっている。綿を詰めた布を貼って立体感を出しているのだ。羽子板と同じ手法だ。作者は松島住舟さんで、この方が最年長出展者、99歳である。

針金と粘土による精密な盆栽や森のジオラマ。絵画作品も多数展示されている。

この日は、才気溢れる多彩な作品を出品した地元の写真家、中村元さんと、最年少出品者、13歳のAさんが居合わせ、歓談する場面もあった。

「写・ド・ラペ」とはなんだろう。世話人の染野政夫さんにお話を伺った。

「カフェ・ド・ラペの常連たちのグループを中心に写真展をやろうと思っていたんです」

カフェ・ド・ラペとは松原団地駅東口すぐのところにある喫茶店だ。染野さんはそこの常連の一人だという。

「カフェ・ド・ラペには年に360日通ってます。朝6時から8時までの2時間、200円のコーヒーを飲んで過ごすんです。そこには仲間がいっぱいいます」

写真をやる人や絵を描く人、音楽家や活弁士など、染野さんの周りには不思議と多彩なアーティストが集まってきた。そんな素晴らしい友人たちと一緒に何かをやりたい。そう思って、まずは写真を中心とした展覧会を開くことにした。その第一弾がこの「写・ド・ラペ展」なのである。

そんな染野さん自身の作品は、大きな紙にさまざまな人物のポートレートがコラージュされたもの。その作品を見ることで、染野さん自身が人と人をつなぐことを大切なテーマにしていて、「写・ド・ラペ展」こそそのひとつの成果なのだということが確認できた。

この展覧会は、タイトルは変わるが9月にも実施する予定だという。「ジャンルを問わず展示したい作品がありましたら連絡ください」とのこと。問い合わせは直接、染野政夫さんまで。

染野政夫さんの電話番号：080（4364）1122

手作り木工品から始まった地域との交流・島田商店

辰井川沿いに柳島町付近を散歩していたとき、本立てや椅子やプランターなどの木工品の数々が展示されたガラス戸棚に出会った。

敷地内を見渡したところ、「島田商店」という看板が目に入った。そして倉庫に背の高い材木がびっしり立てかけられていた。ここは木材を販売する会社らしい。では展示されている木工品はなんなのだろうか。

島田商店の代表、島田勝美さんにお話を伺った。

島田さんは、26年ほど前、勤めていた会社から独立して島田商店を創業した。主に建築会社や設備会社に向けて木材や建材などを販売している。

「普通の人は材木屋は入りにくいじゃない。手作りの木工品があれば、入りやすくなると思って」

と、10年ほど前から、小さな木工品を手作りして安い値段で販売し始めた。そしてそこから地域との交流が深まった。

島田商店は草加南高校のすぐ東に隣接する位置にある。そのため南高校との交流も深く長く続いている。

島田さんは地元のソフトボールサークルに所属して、南高校のグラウンドを借りて早朝練習をしていた。それで南高校には長い間お世話になったので何かお礼がしたいと思い、南高校のソフトボール部と野球部のためにベンチを作って寄贈したという。

また南高校で太鼓部の顧問をなさっていた先生からの依頼で、太鼓の撥（ばち）や置き台を作ったこともある。先生は登山家で埼玉山岳連盟の会員でもあったのだが、残念なことに、2006年の7月にヒマラヤ高峰で滑落し行方不明になった。

島田さんの南高校への思いは高校の先生方もしっかり受け止めていた。2005年、島田さんは草加高校の創立30周年記念式典に招待された。

島田さんの木工の技術はその後どんどん上達し、また、お客さんからの要望を採り入れたりするうちに、製品ラインナップも広がってきた。

たとえば幅30センチ高さ10センチほどの小さい台がある。これはもともとはお客さんから頼まれて作った。


島田商店
草加市谷塚上町680-4
電話：048-928-7378


その瞬間が一生の宝物！

ベビーフォトキャンペーン
キッズモデル募集中!!
8月10日まで！
イトーヨーカドー6Fアコスギャラリーにて**8月16日から20日**まで展示。
6か月から5歳までの未就学児が対象。
参加費用3150円
詳しくはお問い合わせを！

国家認定一級技能士の店
高砂スタジオ
048-924-7393


営業時間 AM9:00～PM7:00 木曜日定休
草加市高砂2-21-35 P あり　http://www.takasago.tv/



草生人facebookに掲載中の取材時等に撮影したスナップ写真。
何の写真かはfacebookにて。

「元々の目的は足台。腰が痛い人は、洗面所で顔を洗うとき片足を台に置くと楽だから」

なかなか思いつかない発想だ。

ところがこれを7つ8つまとめて買う人がいた。聞くと、並べて重ねて物を置く台にするらしい。確かに喫茶店の窓辺にこの台を置いて小物や花を飾ったりすると、木の風合いとあいまっていい雰囲気になりそうだ。このようにお客さんの発想から学ぶことは多いという。

まな板も売っている。素材はヒノキ。

プラスチックのまな板は衛生的だが、包丁をまな板の同じ場所でばかり使うとそこだけ削れ、粉が出てくる。その粉はどこへ？　そう、口に入る。「木を食うほうがまだいいだろう」と、島田さんはヒノキのまな板を推奨している。傷んだ表面は削ることできれいに直せるのもメリットだ。

島田さんは複数の木材を貼り合わせた集成材よりも、杉やヒノキから切り出したままの無垢材にこだわる。住宅にもぜひ無垢材を使ってもらいたいと力説する。

「つや肌がすごくいいんですよ。見た目もやわらかく感じる。しかも丈夫」

無垢材には割れたり曲がったりするという欠点もあることは、お客さんに伝える。木が生きているからである。

「欠点については大工さんのアフターがしっかりしていればなんら問題はありません」

島田さんが作ってきたまな板やベンチ、足台などの木工品の風合いに直に触れれば、誰でも無垢材の良さは十分納得するにちがいない。


島田商店社長の島田勝美さん

草加にもっと興味をもってほしい、「草加お宝かるた」発表会

3月23日、高砂コミュニティーセンターで「草加お宝かるた」発表会が開催された。

「草加お宝かるた」は、草加のさまざまな名物や名所・旧跡などをかるたにしたもの。読み札も絵札も、市民が応募した作品で作られており、その完成発表会＋応募した市民（多くは子どもたち）の表彰式が行われたのだ。

製作したのは、「『今様・草加宿』市民推進会議」。推進会議の交流草加学委員会委員長を務め、「かるた制作委員会」委員長でもある小俣克彦さんに、後日改めてお話を伺った。

「平成22年に、『草加のお宝探し』という、小中学生と一般から草加の人物や名所を募集するというイベントがあって、平成23年3月13日に発表会が行われるはずだったんです。が、震災で中止になって」

そのとき配布されるはずだった発表会用のパンフレットには、行事・イベント、人物、企業・お店、特産物、風景・景観、文芸・芸術、史跡とカテゴリ別に一覧されていた。

「それを元に、2年目にお宝を52に絞って、地図も作って『草加50のお宝』として発表しました」

「お宝」を募集したときから「かるたにしたらどうか」という話は出ていたというが、「50のお宝」を決めた段階でこれはいけると、製作を決定したという。しかし、この作業は思った以上に大変だった。



「まずあいうえお順が大変で。選考リストでめぼしいものを抜き出して入れ替えたり。一時はほとんど毎週集まっていました」

「かるた」の絵札・読み札は市民からの一般公募だが、ともかく「お宝」によって応募数が違うことに悩まされた。たとえば「読み札の応募数1700のうち、おせんべいだけで500くらいありましたから」。絵札の方は、秋に中央公民館で開催されていた「ユネスコ絵画展」の展示作品にも協力を依頼。応募が無かったものは委員会で制作した。

「こんなこと1年でろくなもんできないからやめろという意見もありました。でも、自分達としては、これが不完全なものでもいいから、1回形として出さないと、いつまでたってもできないよ、いけるとこまでいきましょうと。そうしたらなんとか形になりましたし、思った以上にいいものができました」

スケジュールはギリギリで、なんとあがってきたのは発表会の前日だという。印刷を担当したのは、カード印刷に強い地元企業「天田印刷加工株式会社（※1）」。「天田印刷さんにも大変お世話になりました」。

発表会では、かるたの遊び方の説明もあった。4月から小中学校のクラスに配布され、今後かるた大会も開催されることになっている。

かるたをひとつひとつ読んでいくと、まだまだ知らない「草加」がたくさんあることがわかる。ぜひ親子で遊んで、「草加再発見」をしてみてほしい。




小俣克彦さんは、草加市青柳で東京製鎖株式会社を経営されている。草加市東部工業会の会長でもある。

1部1000円。神明庵、草加文化会館「ばりっせ」、駅西口の物産・観光情報センターなどで販売中。





※1　天田印刷加工株式会社　http://www.amada-printing.co.jp/

コーディネーター：鈴木淳子さん



鈴木淳子さんは「草生人２０１２年11・12月号　草加イベントレポート」で紹介させていただいた「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会の主宰者だ。ご自分の仕事を「コーディネーター」と呼ぶ。異質なもの、ことを組み合わせることが好き。

3・11がきっかけで活動を始めた

「以前から自然環境のことをいろいろ考えていて、調べていくうちに何かちょっとおかしいぞと気付き始めていたんだけれど、特に活動はしていなかった。3・11がきっかけで、活動を始めました」

１９６９年の生まれ。

「高校卒業した後、うちが建築屋だったから無理矢理建築の学校入れさせられたの。でも、どうしても合わなくてやめて、アパレルメーカーのメルローズ（※1）という会社に入ったの。すっごく服が好きで、店員になりたいって思って。8年くらい働いたのかな」

「やめてしばらく映画、芝居、絵やダンスなどを見まくって、見るためにバイトしていたんだけれど、今度は自分の服を作りたいと思って文化服装学院の夜間に入りました。そこがすごくおもしろかった。働いている人だから本気度１００％」

今も関わっている「アートコラボスペース」との出会いは2年生のとき。自然の中でのダンス・映像・音楽がコラボしたイベントに参加し、その美しい空間に衝撃を受けたという。

「3年生のときの課題で『パーツ』というのがあって。私はそこですぐに『繋ぐ』って思った。パーツとパーツを繋ぐ、人と人を繋ぐ。ちょうどNYのテロ（9・11）の後だったから、テーマを社会問題にして、それをパーツで『繋げる』という表現をしようと考えて、布と布を繋げて服を作ったの。その時のファッションショーが、映像と音楽を使った構成になっていてとてもおもしろかった」

この経験が、映像・音で空間を構成してさまざまなテーマを表現するイベントの原点となっている。

「先日、アートコラボスペースで知り合った人と経堂でイベント『編む人 音 人と気 オトヒトトキ』（※2）を開催しました」

ネパールで受けた衝撃

ご主人はネパール人。出会いについて伺うと、

「たまたま行ったインド料理店で目があった。すごいきれいな目で、直感で」。

ネパール人の夫を得てネパールに行ったことも、今の活動に繋がっている。

「20代のころは貧困ということを知らなかったの。日本の中でも私たちの時代にはホームレスはそれほど取り上げられていなかったじゃない、今みたいに」

「最初にネパールへ行ったときに、道端にいっぱい学校に行っていない子どもたちがいて、それが衝撃的だった。彼と会ってそこに行ってなければ、一生知らなかったことだと思って。カトマンズの飛行場で降りてすぐもうそんな感じだったんですよ。本当にびっくりした。同じ世界でもこんなに違う現実があるということを思い知らされました」

もうひとつわかったことがある。

「ネパールへ行って、3・11から、エネルギー問題から開放されたって思ってた。ネパールの人は自然エネルギーで暮らしているから。1日10時間くらい停電するの」

しかし、そこで遭遇したのは別のエネルギー問題。

「大きなホテルや企業では、電気がないとやっていけないから自家発電する。隣の大きなホテルにもでっかい自家発電機があってすごい音を出していて、それがもううるさくて。日本だけの問題じゃなくて、世界じゅうどこへいってもエネルギー問題、環境問題があるんだなって、それが目の前につきつけられた。そこで覚悟が決まったの」

草加でもっとおもしろいことをしたい

音楽と映像と何かをコラボしたイベントを、草加でもぜひやりたいという。

今草加では、草加をもっと盛り上げよう、活性化しようという動きはあるが、それが草加に住んでいる人にいまひとつアピールできていない。

「松本とか長野とかに住んでいる人は、外に出なくてもいいという人が多いんだよね。地元がおもしろいから。私町内会には入っているんだけれど、イベントには参加したことがないの。おもしろくなさそうだからなんだよね。もっと画期的な何か、ぴりっとした刺激がないと。そういうのが町の活性化に繋がるわけじゃない」

草加で暮らすこと自体がおもしろくなることが、活性化に繋がる。

「生活の空間がアートというか、おもしろくないと、生活自体がおもしろくなくなっちゃうと思うんだよね。そこが私の原点」

インタビューをさせていただいたのは、草加の喫茶店特集では必ず登場する「カフェ・ギャラリー・コンバーション」（※3）。

「ともかく、空間のコーディネートというか、そういうものがすごく好き。理屈じゃなくて、体感すること。たとえばここに音楽が流れてなかったら、まるで違う空間になっちゃうと思う。その空間によって、人のエネルギーが引き出されると思うんだよね」

「人間的に素敵な人というのに囲まれたいなという思っていたらだんだんそうなってきた。願っていたら叶うんだなって思って」

「鈴木さん」という場所に、さまざまな人とコトが集まり、それが組み合わさって、新しくて面白い、素敵な何かが生まれてくる、そんなイメージが浮かんだ。

これから草加に何が起こるのか、とても楽しみだ。



鈴木淳子さんの名刺。

※1：メルローズ：当時服飾の世界で注目されていた「デザイナーズブランド」のメーカー。
http://www.melrose.co.jp/home.html
※2：「編む人 音 人と気 オトヒトトキ
https://www.facebook.com/events/318721881577689/permalink/318722211577656/
※3：cafe gallery CONVERSION
http://www.cafegalleryconversion.com/

そうかばなし

料理にとっていちばん重要なものとは

妻が夜に所用で外出してしまったとき、残された4人（父と3人の娘たち）は、夕飯をなんとかしなければならない。

長女が中心となって娘たちでカレーを作ることもたまにはある。だが、父を中心に「特別料理」を作ることが期待されることもまれにある。

それではある日の「特別料理」の手順を紹介しよう。

材料を買いに行く。たとえばその日は白菜と豚肉だった。

帰宅してから作業を開始する。

1　白菜を1枚ずつはがす。白菜、豚肉、白菜、豚肉、と交互に重ねる。

2　重ねたやつを幅5センチぐらいの帯状に切る。

3　電磁調理器に鍋をセットしてテーブルの中央に置く。

4　鍋に昆布を敷いてから、白菜と豚肉の帯を縦に敷き詰めていく。三女が使命感を持って作業する。

5　びっしり敷き詰めたら、「ほんだし」を振りかける。ちなみに参考にしたのはAJINOMOTOのサイトだった。

6　水を入れて加熱する。

7　あくを取る。主に長女が執拗に取る。

8　肉の色が白くなり、見るからにおいしそうになる。

9　白髪ねぎと万能ねぎを盛るとよいようだが、白髪ねぎと万能ねぎの意味がわからないので、ねぎを切って盛る。火が通ったようだ。

10　各自お椀に取って食べる。ポン酢を使う。三女がふだん以上の食欲を見せる。よおしどんどん食え！

11　白菜と豚肉が余っていたので、第二弾投下！　1～10を繰り返す。

さあどんどん食え！　片付けろ！　長女がかんばる。次女もねばる。三女の箸が止まる。

なんとか鍋の中の具がなくなりスープだけが残る。

12　茶碗2杯分のご飯を鍋に入れて、加熱する。煮立ったら火を止める。

13　卵2個をかき混ぜて、鍋にぐるりと流し込み、蓋をする。

14　30秒ほどたったら、蓋をあける。

ついに特別料理、「白菜と豚肉の味がしみこんだ雑炊」の完成である！

お椀に取り分ける。各自味を見ながら塩を加えたり、ポン酢をかけたりして、いただく。

なかなかのおいしさではないか！

1から14の手順を、手を抜かず丁寧に行うことにより、濃厚なスープが作り出せたことが勝因だろう。

おや、娘たちの表情が曇っている。この雑炊の味がお気に召さない？

「おいしい……けど、料理にとってとても重要なものが欠けていると思う」と長女。

「重要なものとは？」と父。

「みんなわかるよね。せーの！」と長女。

長女・次女「空腹！」

三女「つけもの！」

（じつに彰）

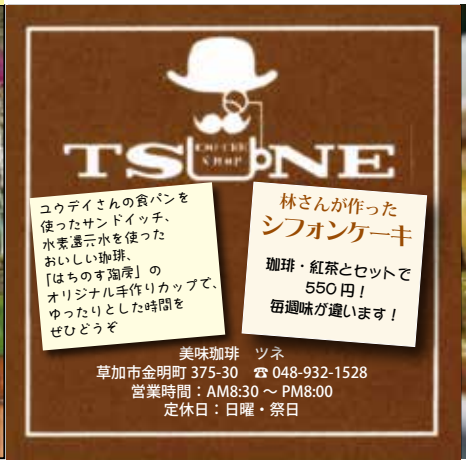


鉄板焼
活魚
大衆割烹



草加市花栗1丁目32－12
電話　048（941）4489







月々思々・編集より

謝罪の言葉が定番になってしまって申し訳ない気持ちでいっぱいのスタッフです。今回は5・6月号が1か月ほど遅れたため、「初夏」号とさせていただきました。この号が遅れたことについては、今回はちょっと説明できる理由があります。

実は並行して「電子書籍」の制作をしていたから。広告を少なくし、「読めるタウン誌」とするために、以前から考えていたことです。

【amazon】で「そうか小ばなし」の著者によるコラム集を、【パブー（※1）】でメルマガバックナンバーなどを、販売し始めました。

現時点では、電子書籍はまだまだまだだなあ、というところですが、将来的には市場はどんどん大きくなるでしょう。

「電子書籍」の利点は、ともかく作るための費用が安くすむことです。そして、いつでもどこでも読める。今やスマホや携帯電話は人が必ず持ち歩くものですから、そこに入っていれば、ちょっとした空き時間に読むことができます。そして、一番大きな利点は、小さな出版社でも（個人でも）「出版」し、それを流通に乗せることができること。

「電子書籍」というと「紙の本の方がいい」とか、今までの本と敵対するように思う方が多いようですが、たぶん、本にかかわっている人はそんなことは思っていません。それぞれ魅力があることは充分承知のはず。「草生人」が紙の冊子であることには、ちゃんと訳があります。

これから、「草生人」に掲載した記事をテーマ別にまとめたり、インタビューした方に執筆していただいたりして、草加市にかかわる小さな電子書籍を出していこうと考えています。

ただ、現時点での一番の問題は、販売の方法です。小さな出版社が販売するしくみがまだ弱いことです。

amazonならたいていの人は使ったことがあるだろうと思ったのですが、実際の生活まわりでの知り合いは意外と持っていないのです。このギャップを考えていなかったことはちょっと失敗でした。

ともかく、こつこつとコンテンツを作り、売って行けたらと思っています。

ここで予告しながらなかなか実現していない「草生人メルマガフリー版（無料版）」と、草生人本誌を直接お届けする方法なども考え中です。

うーん、私がもう1人欲しいですね。どうぞ応援よろしくお願いします。

※パブー：電子書籍の作成・販売サービス。Webブラウザ上で作ってそのまま販売できます。買う方は支払い方法にカード、Webマネー「おさいぽ」、コンビニ支払い、銀行振り込みを選べますが、「会員になる」ことが必要なのがやはり「めんどくさい」ですね。

（編集部）

草生人 Web

バックナンバーPDFの配布、最新刊の内容、編集長ブログ、記事の関連URLのチェック、配信先一覧が確認できます。お問い合わせもこちらからどうぞ。

http://www.asymos.com/soseijin/

【草生人】で検索！

amazon　kindle ストア

http://www.amazon.co.jp/じつにサプリ-ebook/dp/B00CD2F490



本誌「そうか小ばなし」と同じ世界が詰まった本です。つい読み返したくなる、読みおわった後ちょっとほっこりする、ぜひ体験してみてください。

※amazonの「kindle本」で【じつにサプリ】と検索してください。

ブクログのパブー　Puboo

http://p.booklog.jp/users/asymos-yoshino



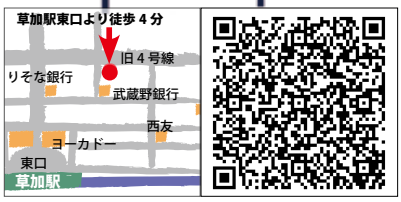
「草生人メールマガジン」の月別まとめ版（バックナンバー）と、3・4月号（防災特集号）テキスト版があります。メルマガは「100円」ですが、試し読み部分はそのまま読めますので（「試し読みを開く」をクリック）、読んでみていただけるとうれしいです。5月号では、編集部日記（イベントレポート）が読めるようになっています。

生徒募集中！　スクエアなら英語が得意って言える！

文部科学省後援　英検準会場資格登録校

ENGLISH SQUARE

英語4技能（読む、書く、聞く、話す）を徹底指導



草加市高砂 2-1-18　facebook ページ

中学基礎英語コース 追加募集中
対象：中学1年生
月・木（週2回）PM7:20 ～ 8:20

楽しい英語Ⅰコース 追加募集中
対象：小1～4年生
月または火（週1回）PM4:30 ～ 5:30

英語圏の伝統文化にもふれあえる！ Halloween パーティにて



お気軽にお問い合わせください！↓

イングリッシュ・スクエア草加校 048-922-5111



草加の英語塾として実績が評判の「イングリッシュスクエア」。草加校を立ち上げてきた瀬戸健一郎氏は、地元獨協大学の出身。市議会議員も務められてきたが、実は英語の先生としてのキャリアの方が長い。現在でも英検二次面接対策等を担当。ちらしやブログには「ここなら英語がモノにできる」と思わせる「情熱」が溢れている。英検の合格実績も高く、中学卒業程度の学力が要求される英検3級合格者に小学生が何名もいる。瀬戸氏は、「スクエアの教授法を学校教育に導入できれば、2～3年間で草加市の公立小中学校の英語レベルは日本一にできます！」と断言。スクエアの理想の英語学習を一度試してみたい。



肩こり・腰痛・ひざの痛み・・
体幹強化と、バランストレーニングで問題解決！

アンチエイジング対策！シニア向け機能改善エクササイズ

スタジオKT

○年齢や体力・目的に合わせたプログラムで、無理なく続けられます
○マンツーマンからグループレッスンまで！ 充実した内容で運動できます

立ち上がれない！ 歩けない！など「ロコモティブ症候群」の予防は早いうちから！　楽しく快適に年を重ねるためにも、今すぐ、正しい姿勢づくり、筋力・骨力をあげる運動を始めましょう。



スタジオ主宰
パーソナルコンディショナー
高橋かおる
スポーツクラブのインストラクターを経て、平成20年草加に「スタジオKT」を開設。東京都南麻布・目白にも教室を開設。公共事業等、介護予防啓発事業でも活躍。草加市の介護予防事業高年者筋力向上トレーニング事業に長くかかわった。「いつまでも動ける身体を作る体操（プラチナ体操）」を広めるため、日々指導に駆け回っている。



高橋かおるの
若返りプラチナ体操
DVD付きトレーニングブック
2012年12月13日 学研発行
定価1,600円（税別）
ご希望の方はご連絡ください。

草加市氷川町2129-4
フォトアークビル2F
東武伊勢崎線「草加」駅下車
西口徒歩2分
西口駅前通りを直進
ホテル東横インの斜め前



まずはお問い合わせください　電話（留守電）・FAX
受付時間：朝9時～夜9時（月～土曜日）

048-925-8737

レッスンの詳細はホームページでもご確認いただけます http://www.kenkou-kt.co.jp/studio_kt/

草生人　2013年初夏号（No.08）　2013年6月28日発行　株式会社アシモズ　染谷洋子　〒340-0015 草加市高砂2-16-3 松井ビル301　Tel：048-954-7537

本紙掲載の写真・イラスト・記事の無断転載を禁じます ©2013 ASYMOS